

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	富山県小矢部市教育委員会教育総務課		
所在地	富山県小矢部市	運営形態	地域移行 ・地域文化芸術団体等運営型
運営主体	小矢部市吹奏楽団		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数の減少が進む中、部員数が確保できず廃止となる部活動が増えてきている。 ・運動部の選択肢も少なくなってきたため、やりたい部活動が無く、文化部に所属する場合がある。 ・学校では、生徒指導や保護者及び地域からの多様な要望に応えるため、時間外勤務で対応せざるを得ないケースが多く、教員にとって部活動が大きな負担となっている。 		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・文化部の中でも特に吹奏楽部について、少子化による影響を解決するため実践研究を行う。 ・教員（顧問）の部活動指導に係る、勤務時間の縮減に取り組む。 ・令和3年度開催の部活動のあり方検討委員会の意見、地域運動部活動推進事業を通して洗い出した課題を念頭に合同部活動を含めて、今後の地域移行を目指す。 		
団体・組織等の連携	教育委員会 → 市吹奏楽団 → 津沢中学校吹奏楽部 （業務委託） （指導者派遣/連絡調整）		
拠点校等	小矢部市立津沢中学校		
活動場所	津沢中学校体育館 クロスランドおやべ		
活動概要	2学期(9月)から、市吹奏楽団と業務委託契約を締結し事業を開始。1. 2年生部員13名全ての生徒及び保護者に同意を得て、この事業を開始した。最初の1か月間は、生徒や保護者の戸惑いや混乱を避けるため、平日の顧問も休日の活動に帯同した。活動時間は、原則、土日のどちらか午前の8時30分から11時00分と定め、指導者については、15名の市吹奏楽団の中から、それぞれのパートに合わせて毎回5名程度実技指導にあたった。謝金の単価は時給1,200円とした。		

○本事業による成果

- ・指導者が積極的に取り組んでくれたおかげで、「うれしい」「毎回楽しみ」「やりがいがある」という声が聞こえている。(生徒、保護者、学校)
- ・専門性の高い指導者からの指導を受け、やりがいを感じるようになったと聞いている。今後のあらゆる費用が追加で発生するかもしれないことが心配でもある。(保護者)
- ・平日は個人練習、休日は市吹奏楽団による個人練習プラス全体練習、というメリハリのある活動体制となった。(生徒、学校)
- ・吹奏楽団の取組の一環として、市ケーブルテレビに活動成果を発表することとなった。(学校、指導者)
- ・地区アンサンブルコンテストに向けて、平日の顧問による指導、休日の吹奏楽団による指導が一体となって活動する機会があった。大会前3回活動、結果銀賞を受賞した。(学校、指導者)
- ・部活動に関する時間外削減ができ、部活動以外のことに時間外勤務を費やせたほか、家庭での時間が従来よりももてた。(学校)
- ・施設の使用や施設の管理が今後も課題となってくる。(市、学校)

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・市吹奏楽団のうち、指導に意欲のある15名の団員から、それぞれのパートに合わせて毎回5名程度が実技指導に参加。
- ・平日は、休日の外部指導者から習ったことを各自で反復練習し、次の休日部活動に生かすよう指導している。
- ・技術指導以外の楽器のメンテナンス方法等の指導も個別にしている。
- ・指導のための研修制度等については、特に設けておらず、今後の課題である。

○運営上の工夫

- ・事業参加にあたり、保護者から【申込書兼同意書】を提出していただき、保険への加入及び緊急連絡先の使用の同意を得ている。
- ・休日の吹奏楽団(外部指導者)と、平日の顧問とが電話やメールで情報交換し、進捗状況について意思疎通している。連絡先(緊急連絡網)を作成し、共有している。(LINEの整備)
- ・運動部も含めた【地域部活動検討委員会】を開催し、事業で生じた課題等の解決に向けた協議をしている。
- ・市部活動のガイドラインを遵守し、練習については、土日のうちどちらか3時間以内を活動時間と定めている。
- ・スポーツ安全保険に加入(今年度は県による手続き)している。

○継続的な運営に関する課題

- ・休日の外部指導者と、平日の顧問とのコミュニケーション(連絡調整)が常に図れている。
- ・市吹奏楽団自身も団員の減少、高齢化に直面していることから、市広報誌での団員募集、チラシの配布に協力した。
- ・今後の会費については、従来からの保護者会費に加えて保険料程度と想定している。このことについては、令和5年度以降も保護者会を巻き込み検討していくこととする。
- ・学校夜間開放の仕組みを利用し、学校体育館を使用しているが本来ならば、平日活動している音楽室を使用したいところである。施設等の問題があり現在は体育館を利用している。暑さ、寒さ対策等の課題があることから、学校長とも継続して運用方法を検討していく。(音楽室ならば空調設備あり。)
- ・本市4校を合同部活とした場合、活動場所の確保や活動場所への移動が求められる。合同部活の実施については、継続的に検討していく必要がある。
- ・指導のための研修制度等については、今後の課題である。どのような指導資格が必要となってくるのか不明な点が多く、積極的に国や県の助言を仰ぎたい。
- ・継続的な運営にあたり、国県等の各種補助金を活用していくことを検討していく。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

令和4年度は、1学校1文化部(津沢中学校吹奏楽部)についてモデル事業を実施したところである。令和5年度については、令和4年度の半年間事業だけでなく、1年生から3年生までを対象にした1年間通年での実施を計画している。他学校の生徒や保護者からは、「津沢中学校ばかり。」というように羨ましがられる声が聞こえてきたところである。令和5年度実施していくにあたり、市内4中学校合同部活(吹奏楽)について並行して、検討していくこととする。活動場所の問題、移動の問題、大会参加の問題等出てくると思われるが、市吹奏楽団の意向も確認しながら協議検討していく予定である。

また、休日音楽室を使えない状態については、学校側とも協議し人的な連携なのか、施設改修するのか引き続き検討していくこととする。

現在は、教育総務課が主管となり対応しているところであるが、今後は文化スポーツ課も交えて、運動部関連、文化部関連について積極的に情報共有していく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	13名(津沢中学校部員1.2年生)
	募集方法	夏休み期間を利用し、市、学校、吹奏楽団が生徒、保護者に周知し募集
指導者	人数等	市吹奏楽団15名のうち、その日の練習内容に合わせて数名を派遣
	募集方法	市吹奏楽団団長が、団員に事業を周知し募集
参加者の移動手段		通常の登校と同様 他施設の場合は保護者による送迎
活動費用	指導者謝金等	謝金1,200円/時間 交通費込
	その他	市楽器運搬補助金 60,000円/校
活動財源	会費	保護者会費等
	その他	国庫補助金(市):地域部活動推進事業補助金
スケジュール	基本活動	原則、土日のどちらか午前の8時30分から11時00分
	年間	9月から1月まで19回活動(2.3月9回見込み)
保険加入等		スポーツ安全保険 部員数13名 指導者11名 R4保護者負担なし県による負担 (保護者負担800円/年 指導者個人負担/800円/年)

【活動の様子（写真添付）】

